

幸せな贈り物

成功のための教育？ 幸せのための教育！

私たちの教育はどこに向かって行っているのでしょうか 7月31日、テグ地方裁判所 A 判事(49 歳)が自分のアパート 14 階の屋上から投身自殺をしました。一方、12 日には、韓国最初であると同時に最高のデザイナーであったホワイトの伝説デザイナー、アンドレ・キム氏(75 歳)が大腸ガンによる肺炎悪化で世を去りました。彼は少し前にある記者とのインタビューで告白したのは「息子がいるから、さびしくはありません。しかし、いつも孤独です。私はルームサロンもカ

ラオケも行ってみたことがありません。ポーカーや花札もできません。結婚もできませんでした…私には自由で素朴な生活がありません…しかし、私の独創的な世界を守るためには、さびしさに打ち勝たなければなりません」それとともに、自分のファッションショーのフィナーレをひたすら結婚式の場面で飾ることも「私が現実であることができなかった永遠な愛に対する懐かしさの表現」と告白しました。

世の中は私たちに目に見える生活がすべてだと言いますが、何か満たされない人生のむなしさ、私たちが心から望んでいた成功の果てはどこでしょうか。また、左右に分かれて、過激な葛藤をもたらしている教育の果てはどこですか。最近、教壇経歴 35 年のキム・ヨンファ先生が書いた「いま 6 年生の教室では…」という本は「学級崩壊」の生々しい現場を

ハーバード大学図書館に書かれた教訓

- 1.いま眠れば夢を見るが、いま勉強すれば夢を成しとげる
- 2.私が空しく送った今日は、昨日死んだ人が切望した明日だ。
- 3.遅れたと思う時が一番早い時だ。
- 4.今日すべきことを明日に持ち越すな。
- 5.勉強する時の苦痛は少したが、学べない苦痛は一生だ。
- 6.勉強は時間が足りないのではなく、努力が足りないのだ。
- 7.幸せは成績順ではないかもしれないが、成功は成績順だ。
- 8.勉強が人生のすべてではない。しかし、人生のすべてでもない勉強一つも征服することができなかつたら、はたして何ができるのか。
- 9.避けることができない苦しみは楽しみなさい。
- 10.人よりもっと早く、もっと誠実に努力すると成功を味わうことができる。

よく見せてくれています。「体罰なしに学生たちを指導してみようとする先生の涙ぐましい努力は、6 年生になって、それを利用することを知っている悪賢い保護者たちと厄介者たちの力に押されて光を失います」と学生を指導する難しさを告白しました。現在 6 年生の教室は統制不能とさえ言っています。口に染みついている悪口、身についた暴力に染まって行く小学生、中学生をたたえる「B(Bomb 統制不能の時限爆弾)世代」、その学生たちの内情は、もっと深刻です。少し前に中学校に発令を受けて行った教師が尋ねて来ました。彼の話

はこうでした。わずか数日前、音楽の授業時間なのに一人の子どもが笑いながらドアを開けて入って来ました。先生が「あれ？君、どうしたの？」と問うたら、にやりと笑ってあいさつして、そのまま先生の横を通りすぎて教室の窓から飛びおりてしまいました。自殺でした。自殺したその子どもが、クラスの委員長で模範生だったと言ったら、衝撃はより大きいでしょう。また、そのような学校の現実の中で、わからない霊的問題で深刻に苦しむ教師が一人や二人ではないということです。

今日のような競争時代に、肉体的な成功と墮落の奴隷になって行っている私たちの教育の現実、徹底的に自分しか分からない利己主義と弱肉強食の力の原理に捕らわれて行っています。動機とは関係なく、結果だけ良ければどんなことでもする世の中、

この恐ろしい思想がひそかに教育という名前で子ども達に伝わっていています。

それなら、一体いつからこのようになったのでしょうか。世の中を支配する力の原理は、人間が悪魔のうそにだまされて神様を離れてからあとに生じたことだと聖書は語っています。神様を離れる前の人間は、神様と交わり、すべてのものを祝福として味わっていました。しかし、神様を離れたのち、人間に植物として与えられていた野菜と木の実は「力」を使うことによって得られるものになり、青い草だけが植物で与えられた動物たちも、人間の墮落によって肉を食べる弱肉強食の世の中になってしまったのです。生存問題を解決するため「肉的文化」が起きて、「力の原理」が教育の土台になりました。それで、このような世の中で暴力と墮落、呪いと災いの悪循環が繰り返されるしかないのです。

真の教育、真の成功、真の幸せの原理 どうすればよいのでしょうか。人間の根本が変わらなければなりません。人間の根本について科学と知識がすべて説明することができない事実を聖書は確かに明らかにしてくれています。魚が水の中で生きて、木が根を地に降ろして生きて行くのが当然の原理であるように、人間は神様とともにいると幸せな霊的な存在として創造されたとおっしゃっています。このような霊的存在である人間が神様を離れてからすべての問題が始まり、呪いと災いと苦しみがやってくるようになりました。お金がなくて精神問題が現れるのではないのです。医者がないから不治の病になるのでもありません。一晩中、楽しんで心も寂しくて、安らぎがない理由は何でしょうか。子どもの教育のために、すべてのものを投資してがんばっているのに、どうして私たちの次世代は、ますます暴力と墮落に陥っていくのでしょうか。また、成功したのに、どうして自殺の道を選択しなければならないのでしょうか。教育が足りないからではありません。根本的な原因は、神様を離れているからです。それで、世の中で得ることができる安らぎと快樂は、いくら良いとしても少しの間だけで、瞬間的な満足であって、真の幸せになれないのです。その後には、必ずむなしさと呪い、もっと大きい不幸がついて来

るようになっていきます。どうして、そのような不幸の中に生きて行かなければならないのでしょうか。不幸をもたらす張本人がいるからです。聖書は、その名をサタン、あるいは悪魔だと言います。悪霊、あるいは惑わす霊だと言います。サタンは、人間が神様を分ることができないようにさせ、苦しめて滅ぼします。

それで、神様はイエス・キリストをこの世に送って人間が解決することができない根本的な問題を解決して救いの道を開いてくださいました。この世に來られたイエス・キリストは、人間の代わりに十字架で死んで復活することによって、人間の罪と運命、呪いと災いの問題をすべて解決してくださいました(マタイの福音書 10:45、ローマ人への手紙 8:2)。信じる人すべてに永遠にとともにいる神様の子どもになる道を開いてくださいました(ヨハネの福音書 14:6、ヨハネの福音書 1:12)。真の王として來られ、サタンの権威を打ちくだいて、その手から解放される道になってくださいました(ヨハネの手紙第一 3:8、ヘブル人への手紙 2:14~15)。それで、聖書はイエス様を「キリスト」だと言っています。人間が絶対に解決することができない根本問題を完全に解決された方だということです。

だれでもイエス・キリストを信じて受け入れれば神様の子どもになって、人生のすべての苦しみから解放されて、真の成功者、真の幸せな生活を送るようになります。神様は、今、あなたの苦しみを解決すること願って、今、あなたが真の成功者の生活を送ることを願っておられます。

真実な心で下の祈りをすれば良いのです。

| 神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の父なる神様、私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンに支配のもとに縛られて奴隷のように生きていました。しかし、いま、この時間イエス・キリストを私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。

イエス・キリストが神様に会う唯一の道となられ、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪と呪いと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に来てくださり、私の主人になってください。いまから私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

「主イエスを信じれば救われます。あなたは大事な人です」

最高の奇跡と感動

神様のみことばである聖書の核心を福音と言うのですが、その福音の核心は、まさにイエス・キリストの十字架の死と復活です。66巻という膨大な内容の聖書が、結局は、この核心に向けて流れていて、長い時間と数多くの事件と人物も、この中心に意味を持って登場しています。

ひとりの人間アダムによって罪が世の中に入って来たのですが、真の人間であり、真の神様である一人キリストによって、人間自らの力ではとうてい解決することができない罪の問題が完全に解決されました。この人生の根本問題を解決したキリストが、まさにイエスで、罪のない方が私たちの罪の代わりで十字架で血を流して死んでくださったことによって、私たちの罪をきれいに赦してくださり、その方とともに罪人であった私たちの古い人も死んで葬られました。

しかし、イエス・キリストが人生の根本問題である罪とサタンと地獄の権威に勝って、神様の息子であるという証拠で復活されることによって、罪に対して死んだ私たちをまた生かしてくださいました。イエス様の復活は霊的な死をもたらずサタンの権威に完全に勝った証拠であり、今日を生きて行く私たちにも同じ復活の生きた希望をくださり、いま復活の霊である聖霊で生きてともにおられることを約束する事件です。

私たち自身の努力は1%も含まれていない完全な恵みが、すなわち救いです。人の方法ではない神様の方法で、イエス・キリストが十字架で死んで復活されることによって、人生の根本問題と人類の永遠な問題を解決されました。罪の系図からいのちの系図に、地獄へ行く運命から天国の民へと身分が変わったのです。一生、罪に引っぱられなければならない運命から、義と認めてもらって、恵みの御座の前に大胆に進むことができる恵みを受けました。サタンが与える呪いと災いと運命に奴隷のように生きていかなければならないのに、イエスの御名でそれを縛り上げることができる権威を受けたのです。

私たちは人生のさまざまな逆境や障害に打ち勝って屈せずに生きて行き、それを通じてまた他人を理解して助ける、平凡であるけれど、絶対に平凡ではない人々の話に感動したりします。また、スポーツ選手が苦しい自分との戦いの中で、逆転のドラマをくり広げる姿も私たちの胸を打ちます。しかし、最高の感動は、いのちに対することです。肉のないいのちの誕生も胸を打つでしょうが、それより大きな感動は、霊のないいのちの誕生です。それは、福音が伝えられ、その福音を信じて、私とともにイエス・キリストを主人として信仰告白することによって、ひとつのたましいが神様に立ち返ってくることです。聖書で語られている十字架の事件と復活の事件が、聖書に出るずいぶん前の話だというだけではなく、今、私の事件として悟ることができ、イエス様をキリストとして、人生の根本問題、すべての問題の解決者として信じて受け入れることによって新しいいのちを得る姿、それが私には最高の奇跡であり、感動です。

「人は、たとい全世界を手に入れても、自分自身を失い、損じたら、何の得がありません」(ルカ 9:25)

神様の子ども 五つの確信

- 1 救いの確信:** イエス・キリストを信じて受け入れた私は、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、1ヨハネ 5:10~13)
- 2 祈り答えの確信:** 神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信:** 神様は聖霊で私の中におられ、私のすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)
- 4 赦しの確信:** 私のすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(1ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信:** 救われた私は、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、1ヨハネ 5:4)

神様の子ども 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せ、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

あなたの子どもは 元気ですか？



イラスト シン・ジョンウン

「ほんとに、きれいな私の子」と言う年寄りが、自分の孫ではない他の家の子もた

ちを見るようになるとき、その感じはまったく違う。自分の血縁だから孫たちが幼い時は思いきりかわいがり、良いことだけを言って、なんども見て会うことを喜び、生きがいを感じているのに、いつのまにかからだが大きくなって、考えも成長すれば、出会いは疎遠になり、関係は遠くなる。しかも他人の家の子どもを見るようになれば、行儀が悪い行動が一つや二つではないから、あきらかに何か小言を言うのにも困る状況だ。

からだを奇妙に曲げたり回したりするビーボーイの人気はわからない事だと言っても、自分の子どもたちが、その姿を真似るために学校や大きい建物の角でうるさい音楽をつけておいて、汗でびっしょりになって地面をこすり続けることは、まったく心に入らない。偶然にバスに乗ってみれば、男でも女でも、口から飛び出す言葉を聞き分けることができなかったが、分かってみれば、言葉と言葉の間をつなぐ接続詞が悪口だったりする。どの家だと言えないほど、親が会えば勉強がよくできる子どものうわさを聞くことはあまりなく、コンピュータゲームに縛られた子どもの問題で、憂いやなげきが一つや二つではない。確かに祝福されて生まれたのに、今日に至って、子どもが B(Bad) 級の子ども達に変わったのだ。

実は、こういう子どもの問題は単純に昨日や今日に起こった事ではない。天地が創造されて人間が地を支配した時代、ちょっとした選択の失敗が家族関係に問題をもたらすようになった。ともに分かちあって生きなければならない兄弟間で血を見るようになって、兄が弟を殺す困難な事が起こった。これは

お互いの間の誤解から始まったのではなく、お互いを気配りすることができなかった結果としての苦痛だ。一番目のボタンをまちがってかけた家族の問題が、結局は、兄弟殺人という問題をもたらし、その墮落の悪循環が歴史を通じて繰り返されて、今は貪欲という名前で、どうすることもできない苦痛をもたらしてくる。人のからだで見えない臓器とは違い、見える体はほとんど対を成す対称的な関係にある。同じく親の身から出た子どもも、親と対称的な関係を持つ。だから、親の状態が子どもの生活に深い影響を及ぼすことを見るようになる。結局、教育学者たちが伝えるように「問題親はいるが、問題児はいない」という言葉に実感がわく。私たちの子どもがねじれることの背景に、避けることができない親の責任が隠されている。いくら拒否したくても、実が根を説明するように、子どもが親を描き出しているのだ。

親の状態が子どもに投影されるなら、子どもを気づかう前に、先に親の状態をよく見て、親の生活から変えなければならぬ。福音は、そのような親の生活を祝福に案内する良い羅針盤だ。親が選択したのが正しいことなら、子どもは必ずその道に従う。しかし、正しい道ではないなら、その道は葛藤の道になる。子どもの葛藤が今日現われるさまざまな問題になっても、福音の座で真実を見いだしたら、私たち子どもは B(Beautiful) を越す B(Best) 級になるのだ。これからは、子どもを心配せずに、泉の源流である親の生活を直したら、子どもも必ずその道にいるはずだから、親が福音に召されて導かれるのを喜び楽しむべきだろう。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ